

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2015年10月7日

各位

株式会社東京証券取引所

2015年度企業価値向上表彰に係るファイナリストの選定について

この度、当取引所が実施する企業価値向上表彰において、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄特任教授）の審議の結果、2015年度の企業価値向上表彰のファイナリストとして次の4社を選定しましたので、お知らせいたします。

「上場会社表彰選定委員会」の審議では、当該4社は、高い企業価値の向上を実現していることに加え、資本コストを上回る企業価値の創造を目指す「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

なお、今後、各社の経営層に対するインタビューや投資家からの意見募集を行い、2016年1月を目途に大賞を決定する予定です。

【ファイナリストとして選定した上場会社】

会社名	コード	業種名	市場区分
日本ハム株式会社	2282	食料品	市場第一部
旭化成株式会社	3407	化学	市場第一部
カシオ計算機株式会社	6952	電気機器	市場第一部
ビジョン株式会社	7956	その他製品	市場第一部

(証券コード順に記載)

【参考】企業価値向上表彰について

スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードの策定・適用など、日本企業に対して、中長期的な視点に立った企業価値の向上を求める声が高まっています。企業が自らの企業価値を高めていくためには、自社の「資本コスト」を認識し、それを上回る資本生産性を実現していくことが必要になります。

企業価値向上表彰は、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践し、高い企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する取組みです。

本表彰の選定は、3名の有識者で構成される「上場会社表彰選定委員会」の審議を通じ、次表のプロセスにより進められます。本表彰の概要や選定経過等については、特設ウェブサイト (<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2015/>) でもご紹介しています。

以上

＜企業価値向上表彰の選定プロセス＞

実施時期	選定方法・選定プロセス
本年 6 月 (実施済)	<p>●<u>エクイティスプレッド (ROE－自己資本コスト) に基づくスクリーニング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全上場会社 (約 3,500 社) の中から、過去数年間の「エクイティ・スプレッド」の平均値または成長率が良好な上場会社 400 社を選定。
本年 7 月 (実施済)	<p>●<u>1次選抜</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーニングにより選定された 400 社に対して、資本コストの認識などの基本的な経営態勢を確認する簡易なアンケート調査を実施。 ・所定の算式により各社の資本コスト (WACC) や企業価値の創出額を算出し、資本コストを上回る企業価値の創出に優れた成果をあげている上場会社 50 社を選定。
本年 8 月～ 9 月 (実施済)	<p>●<u>2次選抜</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次選抜により選定された 50 社に対して、企業価値の向上を実現するための経営の実践状況を確認する詳細なアンケート調査を実施。 ・アンケートの回答などをもとに、上場会社表彰選定委員会がファイナリストを選定。
本日の 発表内容	<p>●<u>前掲の 4 社をファイナリストとして選定</u></p>
来年 1 月 (予定)	<p>●<u>大賞の決定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上場会社表彰選定委員会がファイナリストの経営陣に対してインタビューを実施。あわせて広く投資家から意見を募集。 ・インタビューの結果などをもとに、上場会社表彰選定委員会が大賞会社 1 社を決定。

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局
電話 050-3377-7012 (直通)

(参考)

2015年度企業価値向上表彰 ファイナリストの選定の視点

2015年10月
上場会社表彰選定委員会事務局

上場会社表彰選定委員会では、企業価値を向上させる経営手法は多様であることを十分に認識しつつ、経済付加価値創造の4要素において一般的に「ベストプラクティス」と考えられる取組みに基づいて、ファイナリストの選定を行いました。

選定委員会がファイナリストを選定するにあたり重視した視点は以下のとおりです。

1. 資本コストの算出・認識

企業価値を向上させるための資本政策や投資採択などの経営判断を行うに当たっては、自社の資本コストに係る認識が不可欠であると考えました。

そのため、自社の資本コストの水準を認識していることを選定の必須条件としました。

2. 経営上の枠組みと資本コストを意識した経営の実践

企業価値向上を実現する経営が行われるためには、以下のような経営上の枠組みが導入・整備され、それらの枠組みの中で、自社の資本コストを意識した経営が実践されていることが重要であると考えました。

(1) 経営目標の立案

- ・ 中期経営計画（又はそれに準じる複数年度に渡る計画を含む）が策定されているか
- ・ 資本生産性を意識した経営指標（ROE、ROIC等）が活用されているか
- ・ 自社の最適資本構成のイメージを持ち、それが社内で共有されているか

(2) 経営管理制度の導入・整備

- ・ 新規投資の採択や既存投資からの撤退に係る意思決定を行う際の判断基準が策定されているか
- ・ 投資採択・撤退に係る判断基準に資本コストの概念が組み込まれているか

(3) 評価報酬体系の導入・整備

- ・ 金銭報酬が業績と一定程度連動しているか
- ・ 業績評価に用いる管理指標に資本コストの概念が組み込まれているか

(4) 企業価値向上に向けた啓蒙活動の推進

- ・ 自社の経営目標や資本コストの概念について社内で共有が図られているか（社内研修の実施等）

上記の各項目に関して評価を行ううえでは、例えば「株主から付託された資金に関する収益目標（ROE等）が資本コストの水準を踏まえて設定されているか」や「資本コストを上回るリターンの獲得を目指す投資採択基準が活用されているか」など、投資家から付託された資金を有効に活用する経営態勢が整備・運用されているか否かに着眼して、審議を行いました。

3. その他事項

上記2までの方法に基づいて選抜された上場会社について、企業価値の創出額、過去の業績推移などを総合的に勘案し、ファイナリスト（大賞候補会社）を選定しました。

以 上

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2016年1月12日

各 位

株式会社東京証券取引所

第4回企業価値向上表彰の表彰会社の決定について

このたび、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄特任教授）の選定結果を受け、本年度の企業価値向上表彰の表彰会社を決定しましたので、お知らせします。

1. 企業価値向上表彰の表彰会社について

(1) 大賞について

会社名	証券コード	業種名	市場区分
ピジョン株式会社	7956	その他製品	市場第一部

(2) 優秀賞について

(証券コード順に記載)

会社名	証券コード	業種名	市場区分
日本ハム株式会社	2282	食料品	市場第一部
カシオ計算機株式会社	6952	電気機器	市場第一部

2. 表彰理由について

ピジョン株式会社、日本ハム株式会社及びカシオ計算機株式会社は、いずれも資本コストを上回る企業価値の創造を目指す「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

その中でも、大賞を受賞したピジョン株式会社（以下「同社」といいます。）は、資本コストを上回る企業価値の創造額を表す独自の経営指標である「PVA (Pigeon Value Added : みなし税引後営業利益－資本コスト)」等を重要指標に位置付けて、その向上に組織一丸となって取り組み実際に高い成果を実現するなど、「企業価値向上経営」を特に高いレベルで実践していると認められました。

同社が特に優れていると評価されたポイントは以下のとおりです。

1. 投資者視点を意識した高い経営目標を設定し公表している

- 企業価値向上を目指して、資本生産性を表す経営指標（ROE、ROA、ROIC）に自社の資本コストを大きく上回る高い水準の目標値を設定し、中期経営計画（2015年1月期～2017年1月期）において公表（同社が保守的に想定する加重平均資本コスト：5%、ROE目標：21%、ROA目標：22%、ROIC目標：15%）。
- 過去3年間（2013年1月期～2015年1月期）のROEは、15.5%、19.7%、19.8%と高い水準を維持。

2. 独自の経営指標を活用した経営管理の仕組みを構築している

- 資本コストを上回る企業価値の創造額を表す独自指標である「PVA」を経営に活用。
- PVAを構成要素ごとに細分化して管理する「PVA ツリー」や運転資本の効率性を管理する「CCC（Cash Conversion Cycle） ツリー」を導入し、きめ細かな目標値の設定と実績管理を実施。
- 事業の採択・撤退の判断基準に PVA や NPV、IRR といった管理指標を用いて、資本コストや資本生産性を強く意識した経営判断を実践。

3. 企業価値向上を目指す経営管理の仕組みが組織に深く浸透している

- 事業部門ごとに PVA ツリーや CCC ツリーを作成して細分化した項目ごとに目標値を設定し、それらを達成するための具体的なタスクも明確化するなど、会社全体として企業価値の向上に取り組む経営体制を構築。
- 経営トップ自らが、こうした経営管理の仕組みや考え方を社内に積極的に語り掛け、管理職だけではなく一般社員を対象とする研修も複数回開催するなど、会社全体への意識の浸透に前向きに取り組む。

4. 投資者との建設的な対話の実現に向けて積極的な情報発信を行っている

- PVA ツリーや CCC ツリーの各項目に設定した目標値や実績値の情報を広く公開するなど、投資者との建設的な対話の実現に向けて積極的な情報発信を実施。

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局

電話 050-3377-7012（直通）

【参考1】表彰会社選定の審議の視点について

表彰会社を選定するに当たって、上場会社表彰選定委員会が重視した点は以下のとおりです。

表彰会社選定に当たっての主な審議の観点
1. 経営計画及び経営戦略について －重視する経営目標に投資者視点を意識した企業価値向上の観点が含まれているか。
2. 財務戦略について －株主還元を含めた財務戦略に投資者視点が組み込まれているか。 －事業の投資判断等を行う際の判断基準に投資者視点が組み込まれているか。
3. 株主・投資者とのコミュニケーション態勢について －経営陣が株主や投資者に経営情報を公表することが望ましいという認識・意欲を持ち、実際に公表がなされているか。
4. 企業価値向上経営の推進について －投資者視点を意識した企業価値向上経営の必要性の認識や管理の枠組みについて、社内に対して浸透が図られているか。
5. 企業価値向上に向けた取組みとその成果について －上記1～4の取組みの結果として、実際に企業価値の増大が図られているか。

【参考2】企業価値向上表彰について

企業価値向上表彰は、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践し、高い企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する取組みです。

本表彰の選定は、3名の有識者等で構成される「上場会社表彰選定委員会」の審議を通じ、下表のプロセスで実施されました。本表彰の選定方法や選定経過については、東証ホームページや特設ウェブサイト (<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2015/>) でご紹介しておりますので、是非ともご参照ください。

実施時期	選定方法・選定プロセス
昨年6月 (実施済)	<p>●<u>エクイティスプレッド (ROE－自己資本コスト) に基づくスクリーニング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 全上場会社 (約 3,500 社) の中から、過去数年間の「エクイティ・スプレッド」の平均値または成長率が良好な上場会社 400 社を選定。
昨年7月 (実施済)	<p>●<u>1次選抜</u></p> <ul style="list-style-type: none"> スクリーニングにより選定された 400 社に対して、資本コストの認識などの基本的な経営態勢を確認する簡易なアンケート調査を実施。 所定の算式により各社の資本コスト (WACC) や企業価値の創出額を算出し、資本コストを上回る企業価値の創出に優れた成果をあげている上場会社 50 社を選定。
昨年8月～ 9月 (実施済)	<p>●<u>2次選抜</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 1次選抜により選定された 50 社に対して、企業価値の向上を実現するための経営の実践状況を確認する詳細なアンケート調査を実施。 アンケートの回答などをもとに、上場会社表彰選定委員会がファイナリストを選定。
昨年10月 (実施済)	<p>●<u>ファイナリストの公表</u></p>
本日の 発表内容	<p>●<u>表彰会社 (大賞、優秀賞) の決定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 上場会社表彰選定委員会がファイナリストの経営陣に対してインタビューを実施。あわせて広く投資家から意見を募集。 インタビュー結果などをもとに、上場会社表彰選定委員会が表彰会社を決定。

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2016年2月24日

各位

株式会社東京証券取引所

第4回企業価値向上表彰における一次選抜会社の公表について

当社では、企業価値の向上を目指した経営を実践している会社を表彰する「企業価値向上表彰」（以下「本表彰」といいます。）を実施しており、去る1月12日、今年度の表彰会社として、大賞にピジョン株式会社、優秀賞に日本ハム株式会社及びカシオ計算機株式会社を選定し、公表いたしました。

本表彰においては、これまで表彰会社（大賞及び優秀賞）のみを公表してまいりましたが、多くの投資家やアナリストなどの市場関係者から、選定の過程で選抜されていた会社も公表してほしいとの要望が寄せられております。そこで、こうした要望を受け、今年度から、本表彰の一次選抜において選定された会社（49社）を、自社の資本コストを認識して経営に取り組むなど、投資者の視点を強く意識して企業価値の向上を目指す経営を実践している会社として公表いたします。

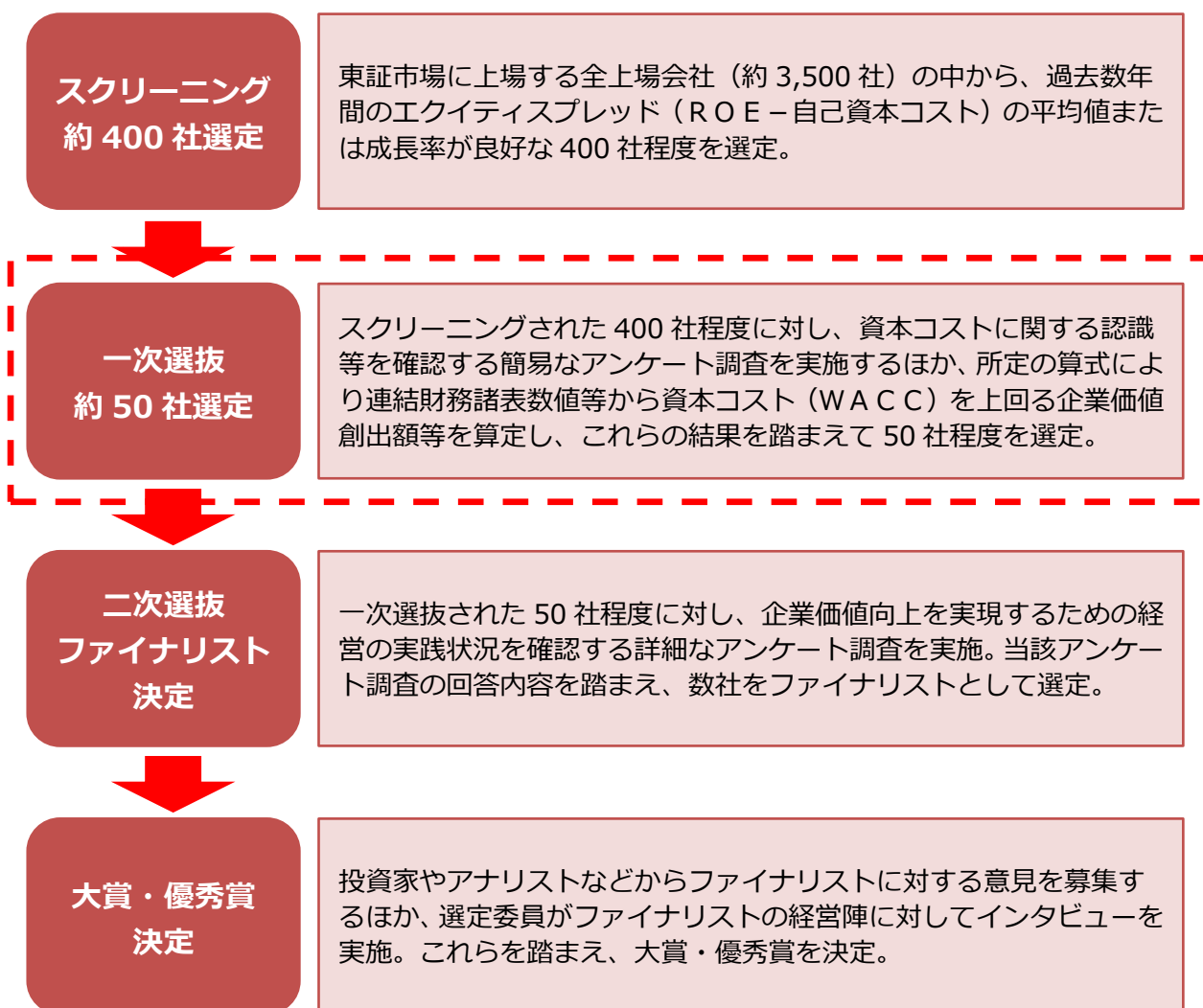
第4回企業価値向上表彰における一次選抜会社
 ～企業価値の向上を目指す経営を実践している会社～

会社名	コード	業種	市場区分
大東建託株式会社	1878	建設業	市場第一部
積水ハウス株式会社	1928	建設業	市場第一部
株式会社ジェイエイシーリクルートメント	2124	サービス業	市場第一部
株式会社コシダカホールディングス	2157	サービス業	JASDAQ
株式会社アルトナー	2163	サービス業	JASDAQ
株式会社エス・エム・エス	2175	サービス業	市場第一部
日本ハム株式会社	2282	食料品	市場第一部
日本駐車場開発株式会社	2353	不動産業	市場第一部
株式会社ベネフィット・ワン	2412	サービス業	市場第二部
株式会社ディー・エヌ・エー	2432	サービス業	市場第一部
WDB ホールディングス株式会社	2475	サービス業	市場第一部
株式会社インフォーマート	2492	サービス業	市場第一部
株式会社ローソン	2651	小売業	市場第一部
株式会社セリア	2782	小売業	JASDAQ
日本たばこ産業株式会社	2914	食料品	市場第一部
アークランドサービス株式会社	3085	小売業	市場第一部
株式会社スタートトゥデイ	3092	小売業	市場第一部
株式会社トレジャー・ファクトリー	3093	小売業	市場第一部
株式会社物語コーポレーション	3097	小売業	市場第一部
旭化成株式会社	3407	化学	市場第一部
グリー株式会社	3632	情報・通信業	市場第一部
株式会社アバント	3836	情報・通信業	JASDAQ
コムチュア株式会社	3844	情報・通信業	市場第一部
株式会社ダイセル	4202	化学	市場第一部
日本ペイントホールディングス株式会社	4612	化学	市場第一部
太陽ホールディングス株式会社	4626	化学	市場第一部
株式会社東京個別指導学院	4745	サービス業	市場第一部
株式会社 JCU	4975	化学	市場第一部
日立金属株式会社	5486	鉄鋼	市場第一部

株式会社ディスコ	6146	機械	市場第一部
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ	6324	機械	JASDAQ
ダイキン工業株式会社	6367	機械	市場第一部
株式会社タダノ	6395	機械	市場第一部
三菱電機株式会社	6503	電気機器	市場第一部
田淵電機株式会社	6624	電気機器	市場第一部
エレコム株式会社	6750	電気機器	市場第一部
日本航空電子工業株式会社	6807	電気機器	市場第一部
カシオ計算機株式会社	6952	電気機器	市場第一部
株式会社エンプラス	6961	電気機器	市場第一部
三菱自動車工業株式会社	7211	輸送用機器	市場第一部
富士重工業株式会社	7270	輸送用機器	市場第一部
二ホンフラッシュ株式会社	7820	その他製品	市場第一部
ピジョン株式会社	7956	その他製品	市場第一部
株式会社サンリオ	8136	卸売業	市場第一部
オリックス株式会社	8591	その他金融業	市場第一部
株式会社大和証券グループ本社	8601	証券、商品先物取引業	市場第一部
株式会社センチュリー21・ジャパン	8898	不動産業	JASDAQ
株式会社光通信	9435	情報・通信業	市場第一部
株式会社ニトリホールディングス	9843	小売業	市場第一部

(証券コード順に記載)

◆ 企業価値向上表彰の選定プロセス



【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局

電話 050-3377-7012（直通）